

京都府知事と府連との懇談会

京都府商工会議所連合会と京都府知事との懇談会が、昨年12月に京都市内のホテルで開催され、当所からは上西会頭と瀬川専務理事が出席した。

京都府からは山田知事と山下商工労働観光部長が、また府内の8商工会議所からは会頭・専務理事が出席した。

懇談会では、府連の立石会長が、「円高、デフレが企業活動に大きな影響を及ぼしている。二番底の懸念がある中、まずは自律的回復を刺激する経済対策が必要である。今後は、人口減少社会における、まちづくり、産業づくりをどのように進めていくかがポイント。地域主権の原点からオール京都で頑張りたい」と挨拶し、山田知事はスピーチの中で、「まるでバブル崩壊後に戻ったような感がある。この認識に立って、中小企業を中心に知恵を結集して、喫緊の課題である雇用・経済対策に取り組みたい。国の予算編成システムが変わるが、限られた財源の中で、施策を絞り、より効果的・効率的に、京都府をバランスよく発展させるために戦略的に取り組むたい」旨の話をされた。

この後、府内の会頭から各々の地域の課題・要望などについて発言があり、山田知事との間で活発な意見交換が行われ、当所の上西会頭は、①京都縦貫自動車道の全線開通、②JR・KTRを軸とした北部4市エリアの「広域周遊観光圏」の構築についての2点に絞って発言した。

知事からは、①京都縦貫自動車道については、「この道路の重要性については国土交通省も理解がある。関係筋にも危機感を持って対応してもらっている。京都の背骨であるこの道路には全力を注いでいきたい」。また、②広域周遊観光圏の整備については、「鉄道だけでなく、バスや自家用車なども含めて検討していくべき」とのコメントがあった。

最後に、立石会長から「府内8商工会議所は、総会員数が2万人を超える総合経済団体である。その活動は、地域経済の活性化に大きく影響する。このことを踏まえ、知事には府政のかじ取りをよろしくお願ひしたい」とのまとめの発言があり、有意義のうちに懇談会を終えた。

北部第1号

『知恵の経営』 知事承認を受ける!

地酒「池雲」を製造する池田酒造株式会社

京都府が平成20年度から実施・推進している『知恵の経営』の知事承認を、池田酒造株式会社が京都府北部第1号として、昨年12月に受けました。

池田酒造株式会社は、「製造方法」「支援者」「販売方法」「水」「伝統」等の目に見えない強み=『知恵』を『見える化』し、これを基に、5年間の成長目標を設定。これらを報告書としてまとめ、地酒“池雲”のブランド化を含め、成長戦略が現実となるよう今後取組んでいかれます。



この報告書は見えないものを『見える化』することにより、経営者自身の気づきのほか、誰も（従業員やお客様、金融など支援機関）がこの会社は

何を考え、どんな強みを持っていて、どのように成長するのかがわかるツールとなります。従って、成長戦略を同じベクトルで進めることや、また、周りから支援いただけるという利点が生まれます。

池田酒造株式会社の承認に引続き、舞鶴から多くの事業所にチャレンジしていただき京都府知事のお墨付きのもと成長ビジョンを実現して下さい。

『知恵の経営』とは

知的財産権やノウハウ、人材、技術力等、目に見えない企業の強みである知的財産=『知恵』を自社で認識するとともに、見えないものでありながら誰でもが認識できる=『見える化』をおこない、これを多くの人が共有認識することにより持続的な利益確保を目指す経営=『知恵の経営』として取り組んでいくという経営手法です。



『知恵の経営』についてお知らせ

■『知恵の経営』支援メニュー

「知恵の経営」推進融資

知恵の経営を実施するにあたり特別融資が受けられます。

■『知恵の経営』セミナー

「知恵」を活用し利益と成長を目指すためのセミナーを開催します。興味のある方は是非ご参加下さい。

3月17日(水) 13:30~15:00 舞鶴商工会議所にて



※舞鶴商工会議所では『知恵の経営』に取り組む企業を支援しています。詳しくは舞鶴商工会議所(電話62-4600)までお問合せ下さい。